

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	薬価システム費	事業開始年度	平成11年度	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	経済課	経済課長 福本		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第77条	関係する計画、通知等	昭和62年中医協 薬価算定方式に関する建議 平成3年中医協 薬価算定方式に関する建議 平成20年中医協 薬価制度改革の骨子			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	1 医薬品価格調査においてオンラインによるデータ収集を行うことにより、調査の一層の効率化、調査客体(卸売販売業者)の負担軽減を図る 2 本調査データの信頼性向上、後発品の流通価格及び数量等の経時的変動の的確な把握(経時変動調査)					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○経時変動調査 調査実施機関:厚生労働省 調査内容:医療機関等に対する販売価格 調査対象品目:薬価基準に記載されている全品目 調査対象客体:日本医薬品卸業連合会加盟業者、日本ジェネリック医薬品販社協会加盟業者など医療用医薬品の取り扱いが多い医薬品卸売販売業者のすべての本支店営業所等 調査対象月:6月、7月、9月、10月、1月の全取引					
実施状況	調査月(21年度は9月を対象月に本調査を実施したため、9月は除く)を対象に、対象客体(約1500)に対し、調査を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	43	43	43	43	38
	執行額	43	43	35		
	執行率	100%	100%	81%		
	総事業費(執行ベース)	43	43	35		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	調査に係る予算要求にあっては、不用額が増大することのないよう、直近の調査実績に基づいた要求を行っている。また、厚生労働省本省執行分については用途を把握している。				
	見直しの余地	「平成20年度薬価制度改革の骨子」(平成19年12月14日中医協総会了承)においても、「今後、後発品の流通量が増大すると想定されることから、その価格及び数量を適確に把握できるよう、薬価調査を充実させることとする。」との指摘もあり、今後とも引き続き薬価調査の効率化、精度向上に努めたい。				
予算・監視の効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 予算と執行の乖離の要因等を精査し、事業実績等を踏まえ予算の縮減を図る必要がある。					
補記						

厚生労働省
35百万円

(調査データの集計・分析業務)



【一般競争】

A. (株)シーディーエス
35百万円(入札3)
医薬品価格調査(経時変動調査)
集計分析業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. (株)シーディーエス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	医薬品価格調査(経時変動調査) 集計分析業務	35			
計		35	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)